

施工手順「エムコン N30 普通コンクリートセット」

YOKOBUSSAN Co.ltd.

【準備物】

- (1)エムコン N30 普通コンクリートセット（エムコン N30、エムコン G2005）
- (2)水（水道水か飲料水） ※有機物不純物や酸性物質を含む水はセメントの水和を阻害するため適しません
- (3)傾動ミキサ（ポットミキサ）、または左官ミキサ
- (4)計量容器（小バケツ）
- (5)鍬 ※その他は工法と工事規模に応じた工具、機械を用意します

【前工程】

下地処理 施工する箇所を適切に下地処理します。

【練り混ぜ】

練り混ぜ方法

エムコン N30 セットは傾動ミキサ、左官ミキサ等で練り混ぜてください。

練り混ぜ時間

- ・ 3分程度練り混ぜてください。
- ・ N30 セットは内添されている化学混和剤が効果を発揮するまで、1分程度の時間がかかります。水量でワーカビリティを調整する場合は、練り混ぜ開始から1分30秒経過後に調整してください。

練り混ぜ容量

- ・ 傾動ミキサ・モルタルミキサの型式と練り混ぜセット数は下記を参考としてください。特にモルタルミキサの場合はモーターへの負荷が大きいため、過大な量を練り混ぜない様注意してください。

項目	ミキサ型式 サイズ	傾動ミキサ・モルタルミキサ				
		2切	2.5切	3切	4切	6切
カタログ練り上げ量 (L)		55	70	83	110	165
エムコンの 推奨練り混ぜ量		1セット (21.5L)	1セット (21.5L)	2セット (43L)	3セット (64.5L)	4セット (86L)

【練り混ぜ手順】

使用ミキサーの選定・注意点・手順等は下記の通りです。

使用ミキサー	傾動ミキサー（ポットミキサー）  ※写真はNGM2BC-M4	左官ミキサー 	ハンドミキサー 
適用	◎（最適）	○（可能）	×（不可）
注意事項	<p>・高さが低いため、一輪車等で受けるにはブロック積等の必要あり。</p>	<p>・ミキサーの端や底部にモルタル層が出来やすい。</p> <p>・碎石が咬み込んだ場合や、パワー不足の時に止まりやすい。</p> <p>・羽根は楕形（写真）の物を使用して下さい。</p> <p>・羽根を上下動出来る場合、出来るだけ下に降ろして使用して下さい。</p> 	<p>・やむなく使用する場合は下記を参照して下さい</p>
手順	<p>投入順</p> <p>①水 ↓</p> <p>②碎石 ↓</p> <p>③プレミックスモルタル ↓</p> <p>攪拌（2～3分）</p>	<p>投入順</p> <p>①プレミックスモルタル ↓</p> <p>②水（攪拌しながら） ↓ 1分攪拌</p> <p>③碎石（ミキサー停止後） ↓</p> <p>攪拌（2～3分）</p>	<p>投入順</p> <p>①水 ↓</p> <p>②プレミックスモルタル ↓ 2分攪拌</p> <p>③トロ舟や一輪車に空ける ↓</p> <p>④碎石 ↓</p> <p>⑤スコップでよく馴染むまで攪拌</p>

【施工】

設計図書に従ってください。

<注意事項>

施工するに際し、コンクリートの練上り温度が 5℃～ 35℃の範囲でお使いください。

【養生】

生コンと同様、湿潤な状態で養生してください。

また、冬季は凍結しないよう保温し、夏季は直射日光を受けないよう日よけをお願いします。

【ワーカビリティの調整】

スランプと水量の関係

練上り温度 20℃環境でスランプ 15cm 程度ですが、練上り温度が高い場合はスランプは小さく、低い場合はスランプは大となります。

水量を ± 0.2 ㍓/セツの範囲で増減する事によりワーカビリティを確保してください。

水量増減量 0.1 ㍓/セツに対し、スランプは 2～3cm 変動します。

空気量

スランプが大きいほど混入される空気は多く、反対にスランプが小さいほど混入される空気は少なくなる特性があります。

また、傾胴ミキサの場合は混入される空気が多くなる傾向があります。

スランプ・空気量を管理する場合は、事前に使用する実機ミキサーを用いて試し練りを行い確認をしてください。

市販の液体混和剤でスランプ・空気量を調整する場合は、各メーカーのカタログの使用量に従ってください。

その他、本資料や技術資料に記載されていない事項は弊社までお問い合わせください。